



気軽に福祉に参加する場として

11月8日に氷上住民センターで『氷上ふれあい福祉バザー』を開催しました。

福祉バザーは、地域の皆様から提供いただいた洗剤や食料品などを販売し、その収益金を次年度の地域福祉活動に活用させていただいております。

当日は、多くの方にご来場いただき売上額は、171,200円でした。

物品を提供いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、また各自治会で物品の取りまとめや前日の準備、当日の運営にご協力いただいた福祉委員、丹波市ボランティア協会氷上支部の皆様ありがとうございました。多くの方に協力いただき無事、終えることができました。

ご協力いただいた皆様ほんとうにありがとうございました。



横のつながりづくりを大切に

10月28日に葛野地区で自治会長、民生委員児童委員、民生児童協力委員、主任児童委員、福祉委員の交流会が開催され、各委員の役割について学んだり、グループワークで他自治会との交流をされました。

グループワークでは、各自治会が取り組んでいる支えあい活動等を一覧表にして可視化し、他自治会の取り組みについて具体的に質問をしたり答えたりすることで活発に意見交換をされていました。

参加者からは、「今後、他自治会の取り組みを参考にして自分たちの自治会でも見守りやつどいの場づくりを1から始めていく予定にしようと決めました！」など前向きな感想が聞けました。

このような機会から少しづつ各委員がつながり、見守り活動や情報の共有、新たなつどいの場づくり等へより安心して暮らせる葛野地区になっていくと良いですね♪

フードドライブありがとう

歳末に実施予定の「しゃきょうたすけあいフードドライブ」について物品を募集したところ、地域の方から多くのご支援をいただきました。ありがとうございます。

「しゃきょうたすけあいフードドライブ」は、失業・疾病・減収などでお困りの方、コロナ特例貸付、生活福祉資金(県社協、市社協)の利用者等でお困りの世帯に対し、地域住民や企業のご協力を得て実施します。

また「常設型フードドライブ」では、臨時の支援が必要な方に対して随時食料をお渡ししております。

物価高の折、地域の支え合いと食品ロス削減を目的とした取り組みのひとつです。



福祉体験学習 北小3年生

10月17日に北小学校3年生14名が「アイマスク・白状」の体験をしました。目が見えない人の困りごとや、介助する人の正しい声掛けが大切なことを体験を通じて感じることができたようです。



東小5年生

10月23日に東小学校5年生54名が「エルダートライ(高齢者疑似)」の体験をしました。疑似体験することで高齢者の日々の困りごとがよ



く分かったよう
です。先生から
「福祉とは、ふだんのくらしのしあわせ」とのお話も
ありました。

氷上ボランティアのつどい

11月28日(金)13時30分から、氷上住民センターで「氷上ボランティアのつどい」が開催されます。丹波市ボランティア協会氷上支部所属の各グループが活動発表し、アトラクションとしてバルーンアートも行われます。ボランティア活動に興味がある方、



ちょっとのぞいてみませんか。
(入場無料)

他にも、いろんなグループの
発表があるよ！



写真:「プチトマト」グループによる、
高齢者施設の環境整備

写真:「へたの会」グループによる、
独居高齢者への絵手紙製作